

Q 市街化調整区域、または事業中の土地改良区域での農地転用の仕方はどのような方法があるか。

A 都市計画の根幹となるため、検討したことはない。引き続き、線引き制度を適正に運用していく。

Q 都市計画区域での線引きの廃止や見直しを考えたことがあるか確認したい。

A 都市計画の根幹となるため、検討したことはない。引き続き、線引き制度を適正に運用していく。

Q 農地を農地以外に使用するやり方はどんなものがあるか。また農地を放棄することができるか。

A 農地法4条、5条の農地転用がある。農地の管理放棄は、農地法上困難と考える。

Q 遊休農地が増加していると思うが原因はなにか。

A 農業者の高齢化や後継者不足による農業従事者の減少、相続等による不在地主の増加等により、増加傾向にある。

Q 農地を農地以外に使用するやり方はどんなものがあるか。また農地を放棄することができるか。

A 農地法4条、5条の農地転用がある。農地の管理放棄は、農地法上困難と考える。

Q 遊休農地が増加していると思うが原因はなにか。

A 農業者の高齢化や後継者不足による農業従事者の減少、相続等による不在地主の増加等により、増加傾向にある。



とみ まさる
富田 勝



A 豊里、花園地区を除く大部分が、線引きされている

Q 深谷市の土地利用について



鐘撞堂山から見た霧ヶ谷津池

Q 山林環境譲与税の活用の対象外となっているが、訪れる人の安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

A 森林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

Q 山林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

A 森林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

Q 山林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

A 森林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

Q 山林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

A 森林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

Q 山林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

A 森林環境譲与税の活用は、安全性や利便性に注視し、必要性に応じ周辺整備と併せて関係各課と協議してまいりたいと考えている。

A 障害特性や生活状況に応じ就労支援を実施している

Q 深谷市における障害者の就労支援の現状は



あき てる
たもと 昭哲



Q 相談の窓口はどうか。

A 市役所障害福祉課と深谷市社会福祉協議会のなかの「障害者就労支援センター」である。

Q 就労系障害福祉サービス事業者とは。また事業内容は。

A 一般企業への就労を希望する方に一定期間就労に必要な知識・能力の向上のための訓練を行う「就労移行支援事業」、一般企業への就労は困難だが雇用契約に基づく就労が可能な方への就労機会の提供と能力向上のための訓練を行う「就労継続支援A型事業」、一般企業での就労が困難な方に就労の機会の提供と必要な訓練を行う「就労継続支援B型事業」、前述の就労移行支援や就労継続支援を経て一般就労に移行した方の就労の継続に伴う生活面の課題に

Q 相談の窓口はどうか。

A 市役所障害福祉課と深谷市社会福祉協議会のなかの「障害者就労支援センター」である。

Q 就労系障害福祉サービス事業者とは。また事業内容は。

A 一般企業への就労を希望する方に一定期間就労に必要な知識・能力の向上のための訓練を行う「就労移行支援事業」、一般企業への就労は困難だが雇用契約に基づく就労が可能な方への就労機会の提供と能力向上のための訓練を行う「就労継続支援A型事業」、一般企業での就労が困難な方に就労の機会の提供と必要な訓練を行う「就労継続支援B型事業」、前述の就労移行支援や就労継続支援を経て一般就労に移行した方の就労の継続に伴う生活面の課題に

Q 相談の窓口はどうか。

A 市役所障害福祉課と深谷市社会福祉協議会のなかの「障害者就労支援センター」である。



障害者就労継続支援事業所

Q 現状と今後の方針は。

A 令和3年度から2年間調査を行い中学生の実態を把握し、認識を深めてきたところである。今後は、調査の対象を小学校6年生にも広げる方向で準備中である。また、令和6年度から「深谷市福祉総合相談窓口（仮称）」の開設に併せてケアラーの情報も関係各課と共有し支援を行う予定である。

Q 現状と今後の方針は。

A 令和3年度から2年間調査を行い中学生の実態を把握し、認識を深めてきたところである。今後は、調査の対象を小学校6年生にも広げる方向で準備中である。また、令和6年度から「深谷市福祉総合相談窓口（仮称）」の開設に併せてケアラーの情報も関係各課と共有し支援を行う予定である。

Q 現状と今後の方針は。

A 令和3年度から2年間調査を行い中学生の実態を把握し、認識を深めてきたところである。今後は、調査の対象を小学校6年生にも広げる方向で準備中である。また、令和6年度から「深谷市福祉総合相談窓口（仮称）」の開設に併せてケアラーの情報も関係各課と共有し支援を行う予定である。

Q 現状と今後の方針は。

A 令和3年度から2年間調査を行い中学生の実態を把握し、認識を深めてきたところである。今後は、調査の対象を小学校6年生にも広げる方向で準備中である。また、令和6年度から「深谷市福祉総合相談窓口（仮称）」の開設に併せてケアラーの情報も関係各課と共有し支援を行う予定である。

Q 現状と今後の方針は。

A 令和3年度から2年間調査を行い中学生の実態を把握し、認識を深めてきたところである。今後は、調査の対象を小学校6年生にも広げる方向で準備中である。また、令和6年度から「深谷市福祉総合相談窓口（仮称）」の開設に併せてケアラーの情報も関係各課と共有し支援を行う予定である。

Q 水防演習会場の跡地再利用計画は



ゆう すけ
かき 祐介
柿 澤



A 地元住民のニーズを含め慎重に検討していく

でも、各種工事を現在計画的に実施している。

Q 熱中症対策について

A 深谷市における熱中症発生予防の本年の取組は、

Q 熱中症対策について

A 今年度は、新たに熱中症予防の基礎知識の周知啓発のため、小中学校への出張講座や職員向けの講座を予定している。

Q 市内小・中学校における熱中症の対策は整っているのか。

A 今年度は小学校1年生から6年生に対してクールスカーフを市から配布し、登下校時に活用できるように準備を進めている。



提供：埼玉県防災航空隊

Q 前小屋地先で開催された水防演習会場の跡地利用として、農業振興や防災活用、また子供たちのスポーツ振興の場としての活用など、深谷市として再利用計画があるのか。

A 今後具体的な協議を進めていく予定である。地元住民のニーズ、また将来にわたる維持管理費などを含め、慎重に検討していく。

Q 一河川の治水対策について

A 出水期を迎えるにあたり、令和元年の台風19号時の様な大雨や、頻発する集中豪雨・大型台風における、小山川・唐沢川・清水川の治水整備状況は、

Q 一河川の治水対策について

A 出水期を迎えるにあたり、令和元年の台風19号時の様な大雨や、頻発する集中豪雨・大型台風における、小山川・唐沢川・清水川の治水整備状況は、

Q 一河川の治水対策について

A 出水期を迎えるにあたり、令和元年の台風19号時の様な大雨や、頻発する集中豪雨・大型台風における、小山川・唐沢川・清水川の治水整備状況は、

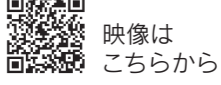
Q 一河川の治水対策について

A 出水期を迎えるにあたり、令和元年の台風19号時の様な大雨や、頻発する集中豪雨・大型台風における、小山川・唐沢川・清水川の治水整備状況は、

Q 保育士バンクの取組はできないか



ひで お
た 英夫
田 口



A 他市の事例を調査研究していきたい

の取組を行う考えはないか。

Q 保育士バンクの取組はできないか

A 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

Q 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

A 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

Q 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

A 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

Q 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

A 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

Q 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

A 保育士確保の観点から、今後は取組を行っている他市の事例を調査研究していきたい。

